

議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、議会基本条例に基づいて「市民との意見交換会」を実施し、お聞きした意見、要望は市政に反映するよう努めています。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため開催を見合わせていましたが、令和4年度は、11月7日にNPO法人災害ボランティア加西らかん、11月8日には加西商工会議所商工業活性化事業検討委員会と議会報告並びに意見交換会を行いました。そこで述べられたご意見の一部を紹介します。

令和4年11月7日

NPO 法人 災害ボランティア 加西らかん



北播磨唯一の災害ボランティアNPO。2014年丹波市豪雨災害を機に、地元発災時のボランティアセンター機能を担うべく結成。災害被災地の継続支援と地元での防災訓練や防災人材育成、地域づくりを目的に活動されています。

『テーマ：災害時の対応、支援について』

議会への質問

- 近く重大災害は起きるかもしれないと思われませんか。それはどこでどんな災害でしょうか。
- 最近では雨の量が多い。線状降水帯が続けば被害が発生するかもしれない。
- 南海トラフ地震が心配。山崎断層への影響があるかもしれない。

→ 地震によるため池決壊も危惧される。

- 地元の自治会で防災訓練は行われていますか。それに参加したことはありますか。また市主催の総合防災訓練は必要と思われませんか。

→ 消防訓練は行っているが、防災・避難訓練はしていない。実践として各地域で取り組む必要がある。

→ 福祉と連携した訓練は重要と考えるが、個人情報保護のため情報が共有できず、要援護者が分からない。

→ 地域全体として警察・自衛隊との連携訓練は必要。

- 地域防災を推進するために最も必要なものは何であると思われませんか。

→ 地域コミュニティの活性化が防災にもつながる。地域の中のさまざまな方々の情報共有と参加は防災訓練がよい機会となり、加西市の地域づくりにもなる。

要望・提言

- 加西市の防災体制の整備と予算確保
- 町単位の防災訓練及び市主催の総合防災訓練の実施

令和4年11月8日

加西商工会議所 商工業活性化事業 検討委員会



加西商工会議所に設置されている委員会の一つで、加西市の商工業の発展について協議されています。どうすれば市内の商店活動が活発になるのか、「ねっぴ〜商品券」や「ねっぴ〜pay」の効率的な運用、大型商業施設の開設に対する対応などについて検討されています。

『テーマ：コロナ禍における商工業施策について』

議会から質問

- コロナ禍における現状はいかがでしょうか。
- コロナの影響が長引いているが食に関しては回復している。
- 「ねっぴ〜Pay」や「ねっぴ〜商品券」、兵庫県のお買い物シール事業は、大きな経済効果があった。とりわ

け加西市の事業者支援は大きい。

- キャッシュレス決済の現状はどうか。
- 手数料が発生するので導入しない店舗や、登録時のセキュリティやパスワードの難しさもあり、購買力の高いシニア世代がデジタル化に追いついていない現状がある。
- デジタル通貨へ移行しているが、紙の商品券も併用して残して欲しい。
- 「ねっぴ〜Pay」を継続して利用してもらうように、低い還元率でも長期のキャンペーンを実施しては。

要望・提言

- デジタル通貨を使えば便利になるという夢・未来構想を示して欲しい。
- 「ねっぴ〜Pay」で外貨獲得（市外客）ができるような工夫も。
- 公共交通の規制緩和やITなどを活用して、お買い物難民の問題を解決して欲しい。